



水道事業事務研修会（経営初級コース）（6月8日～10日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々70名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」、「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「経営分析」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第1回：6月14日～17日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

水道基礎講座（大阪会場第1回：6月15日～17日、大阪会場第2回：6月29日～7月1日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々113名（大阪会場第1回64名、大阪会場第2回49名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

第46回認証審査委員会（6月21日）

議題「神東塗料(株)による不適切行為事案の再発防止対策」が上程され、委員より再発防止対策の実施時期、対策内容及び効果的な広報について提案があり、これらについて、事務局で検討を行っていくこととした。



第173回水道 GLP 認定委員会（6月21日）

水道 GLP 認定について審議した結果、一般社団法人香川県薬剤師会（JWWA-GLP151）の新規認定を決定した。

加えて、横須賀市上下水道局（JWWA-GLP004）、神奈川県企業庁（JWWA-GLP006）及び豊田市上下水道局（JWWA-GLP104）の認定更新を決定した。

また、かずさ水道広域連合企業団（JWWA-GLP034）、岡山市水道局（JWWA-GLP035）、株式会社東洋電化テクノロジー（JWWA-GLP077）、盛岡市上下水道局（JWWA-GLP078）及び公益社団法人大分県薬剤師会（JWWA-GLP081）の認定維持、並びに阪神水道企業団（JWWA-GLP012）、福岡市水道局（JWWA-GLP013）、一般社団法人愛知県薬剤師会（JWWA-GLP014）、周南都市水道水質検査センター協議会（JWWA-GLP065）、福井市企業局（JWWA-GLP067）及び一般財団法人三重県環境保全事業団（JWWA-GLP113）の認定延長を決定した。

水道事業事務研修会（経営中級コース）（6月21日～24日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年以上）の方々35名の参加を得て、「水道経営」、「水道料金」、「水道料金・同演習（水道料金の算定）」、「経営分析・同演習」、「水道事業における財務会計」、「【事例紹介】カーボンハーフの実現に向けた東京都水道局の取組について」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会初日、4日目に行われたグループ別ディスカッションでは、水道事業における経営的課題について班ごとに活発な討議が行われた。

令和4年度第2回理事会（6月23日）

吉田理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について説明した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第100回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」について計2題が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第100回総会（6月23日）

第100回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、来賓、会員、関係者約400名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して吉田理事長から挨拶があり、次いで厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官（代読：名倉医薬・生活衛生局水道課長）、総務省自治財政局長（代読：橋本公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。



開会式



本協会代表挨拶：
吉田理事長



厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官祝辞：
名倉医薬・生活衛生局水道課長



総務省自治財政局長祝辞：
橋本公営企業経営室長



監査報告：土井監事

開会式の後、定款の定めにより吉田理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案「公益社団法人日本水道協会役員の選任」について、事務局より提案資料に基づき新役員について説明があり、審議の結果、原案のとおり、新役員を決定した。続いて、第2号議案「令和3年度公益社団法人日本水道協会会計決算の承認」について、事務局より提案資料に基づく説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第2号議案については、事務局の説明に続き、監事を代表して土井一成氏から監査報告があった。

次に、報告事項として「令和4年度公益社団法人日本水道協会会計予算」、「令和5年度水道関係予算の陳情」及び「神東塗料(株)の不適切行為に係る本協会の対応等」について、資料に基づき、事務局より説明があった。

最後に、議長退任に併せ、本総会をもって退任する吉田理事長より挨拶があった。

総会終了後、特別講演に先立ち、同日開催された第3回理事会で代表理事に選定された青

木新理事長より挨拶があった。「自衛隊における災害派遣について」と題し、陸上自衛隊第一師団第1 後方支援連隊補給隊長の山田直樹 3等陸佐を講師に迎え、特別講演を開催した。



青木新理事長挨拶



特別講演：陸上自衛隊第一師団第1 後方支援
連隊補給隊長 山田 3等陸佐

令和4年度第3回理事会（6月23日）

今川理事が互選により議長となり、第1号議案「代表理事の選定」についてが上程され、審議の結果、青木理事が代表理事に決定した。

次に、第2号議案「顧問の選任」についてが上程され、審議の結果、原案のとおり吉田永氏が顧問に選任された。

続いて、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第101回総会の開催及び開催通知の送付」についてが上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



第1006回会誌編集委員会（6月29日）

本誌7月・8月の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。

第1回水道施設の維持・修繕に係わる専門委員会（6月29日）

はじめに、議事(1)「正・副委員長の選任について」上程し、委員長に神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻准教授の畝田泰子氏、副委員長に東京都水道局給水部配水課長の安孫子昌弘氏がそれぞれ選任された。

続いて、畝田委員長の議事進行により、議事(2)「専門委員会の進め方について」、議事(3)「和歌山市における事故事例の紹介」、議事(4)「法令及びガイドラインの紹介」、議事(5)「水道の諸課題検討委員会での議論の紹介」、議事(6)「委員事業体における水管橋の維持管理状況の紹介」について、厚生労働省水道課、和歌山市企業局及び事務局から報告があった。

続いて、議事(7)「ガイドライン拡充に向けた意見交換」について意見交換を行った。

第1回水道施設設計指針改訂特別調査委員会（7月4日）

冒頭、青木理事長より挨拶を行った。委員会規程に基づき、青木理事長の指名により委員長は東京大学大学院滝沢教授が、滝沢委員長の指名により副委員長は東京都水道局松田技監が専任された。

この後、滝沢委員長の進行の下、「水道施設設計指針改訂の基本方針について」、「小委員会の設置について」、「今後の作業予定について」について、審議を行い了承された。



第763回抄録委員会（7月5日）

本誌10月号、11月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第88回中小規模水道問題協議会（7月7日）

メンバー都市から提案された情報交換事項「①水道料金のインボイス制度への対応について」、「②水道料金の減免制度について」、「③供用廃止した管路を残置する際の措置」、「④水道資材の高騰に関する単価の設定方法」、「⑤水道管の修繕の委託方法について」、「⑥給水装置工事申込申請の簡略化について」の6題について、それぞれ情報交換を行った。

